

科目名	英語 1 K					単位	1.0
担当教員	馬場 景子						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	3305

●授業のテーマ

アクティブ・ラーニングで英語を理解する

●到達目標

1. 英語の骨格の5文型が理解できる
2. 英語の主要な要素の動詞が理解できる
3. 英語の文構造のシステムがわかるようになる
4. 英語文が今より理解できるようになります

●学習内容(授業概要)

英語の主語と述語動詞が決まれば、英文は書けるようになると思います。日本語にふさわしい英語表現がいくつかあり、それらの表現のひとつを頭に刻めば、英語表現ができるようになります。さらに、日本語と英語の文の構造には違いがあります。このことを理解すれば、言いたい英語を表現できるようになります。以上の3点を踏まえ、学習者が苦手意識をもっている文法事項の説明を行い、学習者には身体的記憶の必要から繰り返し学習し、さらに発展させることで、苦手意識おるいは、ザックリとしか英語を今まで学習してこなかった学習者にとって、システムティックに英語が理解できることを、この講義では目標にします。

●学習内容(授業計画)

- 1回 授業参加のためのガイダンス
- 2日 5つの基本文型を中心にして(第1文型~第3文型)
- 3回 5つの基本文型を中心にして(第4文型~第5文型)
- 4回 助動詞(will, can, may, must, would)
- 5回 助動詞(should, その他の助動詞、助動詞+have+過去分詞)
- 6回 完了形(現在完了)
- 7回 完了形(過去完了)
- 8回 中間考査
- 9回 中間考査結果と考査傾向と説明
- 10回 進行形
- 11回 受動態(基本的な受動態、受動態の進行形、助動詞+過去分詞)
- 12回 受動態(群動詞の受動態、by以外の受動態、疑問詞で始まる受動態)
- 13回 比較(原級を用いた表現)
- 14回 比較(比較級を用いた表現、最上級を用いた表現)
- 15回 まとめ

●準備学習・事後学習の内容

授業参加に関しては、1回目の講義時に説明します。必ず参加して下さい。

●成績評価方法・基準

中間考査 50%

定期試験 50%

出席に関しては授業開始時に説明します。

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：Writing Step by Step、著者名：登美博之、Glen Norris、出版社：朝日出版社

●参考文献／その他

適宜提示

●履修上の注意

言語活動は、日々の繰り返しが必要です。繰り返しが成果を生み出します。

英語は外国語なので、異文化言語に敬意を示しましょう。必ず辞書を持参してください。